

教科名	工業 (建設) 科	科目名	課題研究 ■必修 □選択	学年	3 年	単位数	3
-----	-----------	-----	-----------------	----	-----	-----	---

使用教科書 副教材 等	建築設計製図 (実教出版)	使用教室	建設科実習棟
----------------	---------------	------	--------

学習の 目標	工業に関する課題を設定し、その課題の解決を図る学習を通して、専門的な知識と技術の深化、総合化を図るとともに、問題解決の能力や自発的、創造的な学習態度を育てる。
-----------	---

評価	評価法	興味関心、学習意欲、授業態度と合わせて、下記項目で評価します。 □定期考査 □小テスト □ノート・授業プリント ■振り返りシート ■作品 ■パフォーマンス課題 (プレゼンテーション・小論文・レポート・ ディベート・自主学习ノート) □その他 ( )	
	評価 観点の 趣旨	a	知識・技術 工業に関する基礎的・基本的な技術を身に付け、安全や環境に配慮し、計画・適切な処理および成果を的確に表現する技能が身に付いたか。
		b	思考・判断・ 表現 工業技術に関する諸問題の解決を目指して自ら考察を深め、基礎的な知識と技術を活用して、創意工夫する能力が身についたか。
		c	主体的に学習 に取り組む 態度 工業に関する基礎的な知識を身につけ、自分で課題を見つけ、自ら学び自ら考え、主体的に問題を解決する能力が身についたか。
上に示す観点に基づいて、各観点で評価し、観点別学習状況の評価 (A、B、Cの3段階) および評点 (1~10の10段階) にまとめます。			

学期	月	学習項目・単元	学習内容・ねらい	評価方法	
				項目	a・b・c
1	4 月 7 月	○建築設計	住宅を設計し、プレゼンテーションする。 コンペに参加 与えられた条件を満たす設計製 製作・舗装・外構 (地域の自治会や学校での実)	□定期考査 □小テスト □ノート ■振り返りシート ■作品 ■パフォーマンス課題 □その他 ( )	a b c a b c a b c ( )
		○かまどベンチの 製作 ○配管工事の取組 ○総合研究	配管技能コンテストの課題製作、 1級2級配管技能検定実技課題の製作 自由設計の木造2階建て住宅のプレゼンボード の製作 (着色・CADによる作図)		
2	9 月 1 2 月	○建築設計	卒業設計・卒業研究 自ら興味を持った建築物の設計、模型制作・ 調査およびプレゼンテーション	□定期考査 □小テスト □ノート ■振り返りシート ■作品 ■パフォーマンス課題 □その他 ( )	a b c a b c a b c ( )
		○かまどベンチの 製作 ○配管工事の取組 ○総合研究	製作・舗装・外構 (地域の自治会や学校での実) 1級2級配管技能検定実技課題の製作 配管技術を使った家具のデザイン及び製作 自由設計の木造2階建て住宅のプレゼンボード の製作 (模型製作)		
3	1 月 3 月	○成果発表	○成果発表会に向けたプレゼンテーション準備 ○成果発表会でのプレゼンテーション	□定期考査 □小テスト □ノート ■振り返りシート ■作品 ■パフォーマンス課題 □その他 ( )	a b c a b c a b c ( )

担当者からのメッセージ (学習方法など)

3年間の学習の集大成としてテーマを決め、満足いく作品を仕上げましょう。また、完成に向けて努力することで、問題解決方法や協調性など社会に適応する力を身につけましょう。

教科名	工業 (建設) 科	科目名	建設実習 □必修 ■選択	学年	3 年	単位数	3
-----	-----------	-----	-----------------	----	-----	-----	---

使用教科書 副教材 等	建築実習 1・2 (実教出版)	使用教室	建設科実習棟
----------------	-----------------	------	--------

学習の 目標	工業に関する基礎的技術を実験・実習によって体験させ、各分野における技術への興味・関心を高め、工業の意義や役割を理解させるとともに、工業に関する広い視野を養い、工業の発展を図る意欲的な態度を育てる。
-----------	--

評価	評価法	興味関心、学習意欲、授業態度と合わせて、下記項目で評価します。 □定期考査 □小テスト ■ノート・授業プリント ■振り返りシート ■作品 ■パフォーマンス課題 (プレゼンテーション・小論文・レポート・ ディベート・自主学习ノート) □その他 ( )	
	評価 観点 の 趣旨	a	知識・技術 工業に関する基礎的な知識・技術を身に付け、安全や環境に配慮し、計画・適切な処理および成果を的確に表現する技能が身に付いたか。
		b	思考・判断・ 表現 工業技術に関する諸問題の解決を目指して自ら考察を深め、基礎的な知識と技術を活用して、創意工夫する能力が身についたか。
		c	主体的に学習 に取り組む 態度 工業に関する基礎的技術について関心をもち、その改善・向上を目指して意欲的に取り組む実践的な態度が身についたか。
上に示す観点に基づいて、各観点で評価し、観点別学習状況の評価 (A、B、Cの3段階) および評点 (1~10の10段階) にまとめます。			

学期	月	学習項目・単元	学習内容・ねらい	評価方法	
				項目	a・b・c
1 ┌ 3	4	○総合実習	1・2年次で学習した知識を活かし、総合的に建設分野について学ぶ 学校に必要な箇所の営繕やエクステリア整備を通して建設技術の実践を行う	□定期考査	
	┌			□小テスト	
	1 月			□ノート	a b c
				■振り返りシート	a
				■作品	a b c
				■パフォーマンス課題	a b c
				□その他	( )
				( )	
1 ┌ 3	4	○造形	図法 ・アイソ・アクリル図、1点透視図法、2点透視図法 鉛筆・色鉛筆によるデッサン 水彩絵の具による内観・外観パース着彩	□定期考査	
	┌			□小テスト	
	1 月			■ノート	a b c
				■振り返りシート	a
				■作品	a b c
				■パフォーマンス課題	a b c
				■その他	( )
				( )	
1 ┌ 3	4	○設備	配管の施工 アーク溶接	□定期考査	
	┌			□小テスト	
	1 月			□ノート	a b c
				■振り返りシート	a
				■作品	a b c
				■パフォーマンス課題	a b c
				□その他	( )
				( )	

担当者からのメッセージ (学習方法など)  
工業に関する基礎的な知識や技術を身につけ、現代社会における建設技術の意義や役割を理解して取り組んでください。

教科名	工業 (建設)	科	科目名	プログレス実習 □必修 ■選択	学年	3 年	単位数	3
-----	---------	---	-----	--------------------	----	-----	-----	---

使用教科書 副教材 等	建築製図・実習 (実教出版)	使用教室	建設科実習棟
----------------	----------------	------	--------

学習の 目標	工業に関する基礎的技術を実験・実習によって体験させ、各分野における技術への興味・関心を高め、工業の意義や役割を理解させるとともに、工業に関する広い視野を養い、工業の発展を図る意欲的な態度を育てる。
-----------	--

評価	評価法	興味関心、学習意欲、授業態度と合わせて、下記項目で評価します。 □定期考査 □小テスト ■ノート・授業プリント ■振り返りシート ■作品 ■パフォーマンス課題 (プレゼンテーション・小論文・レポート・ ディベート・自主学习ノート) □その他 ( )		
	評価 観点 の 趣旨	a	知識・技術	作品・プレゼンテーション等で各実習における知識の定着と技能の修得を評価する。
		b	思考・判断・ 表現	レポートや課題等で、各実習で得た知識を使って自分なりに考え、表現しているかを評価する。
		c	主体的に学習 に取り組む 態度	実習中の態度及びレポートや振り返りシート等で、学びへの主体性や、学習の進捗度を理解して前向きに取り組もうとしているかを評価する。
上に示す観点に基づいて、各観点で評価し、観点別学習状況の評価 (A、B、Cの3段階) および評点 (1~10の10段階) にまとめます。				

学期	月	学習項目・単元	学習内容・ねらい	評価方法	
				項目	a・b・c
1	4 月 9 月	○模型の製作 ・住宅模型の製作	スチレンボードやリブボードを使用して、自由設計で学んだ木造2階建て住宅の模型を製作する。	□定期考査 □小テスト ■ノート ■振り返りシート ■作品 ■パフォーマンス課題 □その他 ( )	a b c a a b c a b c
2	9 月 12 月	○各種見学会 ○建築パース ・建築物外観・内観 ・3D-CAD	企業や大学等の見学 コピーックを使用した木造2階建て住宅のパース着色とプレゼンテーションボードの製作 3D-CADのと外観パースの比較実験	□定期考査 □小テスト ■ノート ■振り返りシート ■作品 ■パフォーマンス課題 ■その他 ( )	a b c a a b c a b c
3	1 月 3 月	○プレゼンテーション ・パワーポイント	パワーポイントを使って、成果発表会等のプレゼンテーションを行う。	□定期考査 □小テスト □ノート ■振り返りシート ■作品 ■パフォーマンス課題 □その他 ( )	a b c a a b c a b c

担当者からのメッセージ (学習方法など)  
建築デザインに関する技術について学び、模型製作、コピーックを使って建築パースを作成し、プレゼンテーションや建築設計時の表現方法を学びます。さらに成果発表会でのプレゼンテーションを行います。

教科名	工業 (建設)	科	科目名	建設製図 (選択F) □必修 ■選択	学年	3 年	単位数	2
使用教科書 副教材 等	建築設計製図 (実教出版)				使用教室	製図室 CAD室		
学習の 目標	製図に関する日本工業規格及び専門分野の製図について基礎的な知識と技術を習得させ、図面を作成する能力と態度を育てる。							
評価	評価法	興味関心、学習意欲、授業態度と合わせて、下記項目で評価します。 <input type="checkbox"/> 定期考査 <input type="checkbox"/> 小テスト <input type="checkbox"/> ノート・授業プリント <input type="checkbox"/> 振り返りシート ■作品 ■パフォーマンス課題 (プレゼンテーション・小論文・レポート・ ディベート・自主学习ノート) <input type="checkbox"/> その他 ( )						
	評価 観点の 趣旨	a	知識・技術	建築・設備製図に関する基礎的な知識と技術を身に付け、建築・設備の意義や役割を理解し、それを正確に作図やCADで表す力が身についたか。				
		b	思考・判断・表現	各種構造物に対応できる応用力と、図面の詳細を読み切り、空調設備の配管を適切に判断する能力が身についたか。				
		c	主体的に学習に取り組む態度	基礎製図及び建築構造に関心をもち、その習得に向けて意欲的に取り組み、製作図を正確に理解し、作成する能力が身につけられたか。				
上に示す観点に基づいて、各観点で評価し、観点別学習状況の評価 (A、B、Cの3段階) および評点 (1~10の10段階) にまとめます。								
学期	月	学習項目・単元	学習内容・ねらい	評価方法				
				項目 a・b・c				
1	4 月 7 月	○課題設計1 住宅の設計 (配置図、平面図)	<ul style="list-style-type: none"> <li>住宅設計エスキスの完成</li> <li>配置図、平面図の作図</li> <li>タイトルのデザイン</li> <li>設計主旨、面積表の作成</li> <li>断面図、立面図のエスキスの完成</li> </ul>	<input type="checkbox"/> 定期考査 <input type="checkbox"/> 小テスト <input type="checkbox"/> ノート <input type="checkbox"/> 振り返りシート ■作品 a b c ■パフォーマンス課題 a b c <input type="checkbox"/> その他 ( )				
		○課題設計1 住宅の設計 (立面図、断面図)  ○課題設計2(選択) ①店舗併用住宅設計 ②設備製図	<ul style="list-style-type: none"> <li>立面図、断面図の作図</li> <li>立面図、断面図の着色</li> <li>①平面図エスキス～作図、着色</li> <li>立面図・断面図エスキス～作図、着色</li> <li>②給排水・ガス・衛生設備図</li> </ul>	<input type="checkbox"/> 定期考査 <input type="checkbox"/> 小テスト <input type="checkbox"/> ノート <input type="checkbox"/> 振り返りシート ■作品 a b c ■パフォーマンス課題 a b c <input type="checkbox"/> その他 ( )				
3	1 月	○課題設計2(選択) ①店舗併用住宅設計 ②設備製図	<ul style="list-style-type: none"> <li>①立面図、断面図の完成</li> <li>②空気調和設備図、電気設備図</li> </ul>	<input type="checkbox"/> 定期考査 <input type="checkbox"/> 小テスト <input type="checkbox"/> ノート <input type="checkbox"/> 振り返りシート ■作品 a b c ■パフォーマンス課題 a b c <input type="checkbox"/> その他 ( )				
		担当者からのメッセージ (学習方法など)						
1, 2年生で学んだ製図の基礎を発展させ、各自が資料を調べるなどして計画した住宅図面を完成させ、ものづくりの醍醐味を感じてほしい。								

教科名	工業 (建設) 科	科目名	建築計画 (選択E) □必修 ■選択	学年	3 年	単位数	2
使用教科書 副教材 等	建築計画 (実教出版)			使用教室	HR 教室		
学習の 目標	建築物を計画する上での基礎的な知識と技術を習得させて、各種平面プランを立てさせる。 また、建築の歴史についても学習し知識を深めさせる。						
評価	評価法	興味関心、学習意欲、授業態度と合わせて、下記項目で評価します。 ■定期考査 □小テスト ■ノート・授業プリント ■振り返りシート ■作品 ■パフォーマンス課題 (プレゼンテーション・小論文・レポート・ ディベート・自主学习ノート) □その他 ( )					
	評価 観点 の 趣旨	a	知識・技術	建築物の計画について、快適な住空間や環境対策について基礎的・基本的な知識を身につけ、成果を的確に表現する力が養えたか。			
		b	思考・判断・表現	建築物を計画する上での諸問題の解決を目指して自ら思考を深め、基礎的な知識を活用して創意工夫する能力が身についたか。			
		c	主体的に学習に取り組む態度	建築物を計画する上で、快適な環境や生活空間を提供するために自ら思考を深め、知識・技能を活用して表現しようとしているか。			
上に示す観点に基づいて、各観点で評価し、観点別学習状況の評価 (A、B、Cの3段階) および評点 (1~10の10段階) にまとめます。							
学期	月	学習項目・単元	学習内容・ねらい	評価方法			
				項目	a	b	c
1	4	各種建築物の計画 ○集合住宅の計画	集合住宅の計画について基礎的・基本的な知識を習得する。 集合住宅の平面計画について進め方を習得する。 事務所の計画について基礎的・基本的な知識を習得する。 事務所の平面計画について進め方を習得する。	■定期考査	a	b	c
	7	○事務所の計画		□小テスト			
2	9	各種建築物の計画 ○事務所の計画 ○小学校の計画	事務所の断面計画について進め方を習得する。 小学校の計画について基礎的・基本的な知識を習得する。 事務所の平面・断面計画について進め方を習得する。	■ノート	a	b	c
	1 2 月	建築の移り変わり ○日本の建築		■振り返りシート			
3	1	建築の移り変わり ○西洋の建築	建築の歴史 (原始から近世) について基礎的・基本的な知識を習得する。	■作品	b		
	3 月			■パフォーマンス課題	a	b	c
担当者からのメッセージ (学習方法など)							
計画について、快適な空間をどう提案したらよいかの知識・技能を習得し、平面計画の中に盛り込めるよう学習しましょう。また、歴史についても興味を持って学習しましょう。							

教科名	工業 (建設) 科	科目名	建築施工 ■必修 □選択	学年	3 年	単位数	2
使用教科書 副教材 等	建築施工 (実教出版)			使用教室	HR		
学習の 目標	工業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、建築物の施工に必要な資質・能力を育成する。						
評価	評価法	興味関心、学習意欲、授業態度と合わせて、下記項目で評価します。 ■定期考査 ■小テスト ■ノート ■振り返りシート □作品 □パフォーマンス課題 (プレゼンテーション・小論文・レポート・ ディベート・自主学習ノート) □その他 ( )					
	評価 観点の 趣旨	a	知識・技術	建築物の施工について安全性や環境への配慮を踏まえて理解するとともに、 関連する技術を身に着けるようにする			
		b	思考・判断・ 表現	建築物の施工に関する課題を発見し、技術者として科学的な根拠に基づき工業 技術の進展に対応し解決する能力を養う			
		c	主体的に学習 に取り組む 態度	安全で安心な建築物を施工する力の向上を目指して自ら学び、建築の発展に 主体的かつ協同的に取り組む態度を養う			
上に示す観点に基づいて、各観点で評価し、観点別学習状況の評価 (A、B、Cの3段階) および評点 (1~10の10段階) にまとめます。							
学期	月	学習項目・単元	学習内容・ねらい	評価方法			
				項目	a	b	c
1	4	建築施工のあらし 工事の準備 地面から下の工事 RC造の工事	建築施工に携わる人々の役割や仕事内容について 着工前に必要な地盤や敷地の調査及び仮設工事について 土工事及び杭・地業工事について RC (鉄筋コンクリート) 構造の施工について 【ねらい】 施工の安全性や合理性の視点で捉え、科学的な根拠に 基づき工業生産に関連付けて考察し、実践的・体験的 な学習活動を行うことなどを通し建築物の施工ができる ようにする	■定期考査	a	b	c
	5			□小テスト	a	b	
	6			■ノート	a	b	c
	7			■振り返りシート	a	b	c
2	9	鋼構造の工事 木構造の工事 建築物の保全 解体工事と環境保全 建築の業務	鋼構造の施工について 木構造の施工について 建築物の維持管理について 建築物の解体と環境配慮について 工事契約・組織編制・施工計画・施工管理について 【ねらい】各種工事について、施工の安全性や合理性 の視点で捉え、科学的な根拠に基づき工業生産に合理性 の視点で関連付けて考察し、実践的・体験的な学習 活動を行うことなどを通し建築物の施工ができるよう にする	■定期考査	a	b	c
	10			□小テスト			
	11			■ノート	a	b	c
	12			■振り返りシート	a	b	c
3	1	建築工事の算出・積算	工事費の概要、積算、積算書類のまとめ方について 【ねらい】 建築の施工業務について、施工の安全性や捉え、科学 的な根拠に基づき工業生産に合理性の視点で関連付け て考察し、実践的・体験的な学習活動を行うことなど を通し建築物の施工ができるようにする	■定期考査	a	b	c
				□小テスト			
				■ノート	a	b	c
				■振り返りシート	a	b	c
担当者からのメッセージ (学習方法など)							
実際に建物がどのようにして建てられ、それにかかる日数や工事費用、各種法規との関係を教科書だけでなく 様々な建築の動画を見て建築の知識を深めていきましょう。							

教科名	工業 (建設) 科	科目名	建築法規 ■必修 □選択	学年	3 年	単位数	2
使用教科書 副教材 等	建築法規 (実教出版) 建築基準法令集 (オーム社)			使用教室	HR 教室		
学習の 目標	建築基準法に関する用語・法的解釈を元に、社会生活に必要なルールを理解させ、建築技術者 にとっての基本的な必要事項を学習させ、実践にあった各建築関係の法律が理解・利用できる ことを目的とする。						
評価	評価 法	興味関心、学習意欲、授業態度と合わせて、下記項目で評価します。 ■定期考査 □小テスト ■ノート・授業プリント ■振り返りシート □作品 ■パフォーマンス課題 (プレゼンテーション・小論文・レポート・ ディベート・自主学習ノート) □その他 ( )					
	評価 観点 の 趣 旨	a	知識・技術	個々の法律について、基礎的な計算方法・解釈方法及びその法律の利用方法 が身についたか。			
		b	思考・判断・ 表現	建築物を計画する上での諸問題の解決を法律の観点から検証し、基準法に あった設計や構造を考慮し創意工夫する能力が身についたか。			
		c	主体的に学習 に取り組む 態度	安全な住空間を計画するうえで建築基準法にかかわる法律などを、自ら調べ 思考を深め、知識・技能を活用して表現しようとしているか。			
上に示す観点に基づいて、各観点で評価し、観点別学習状況の評価 (A、B、Cの3段階) および評点 (1~10の10段階) にまとめます。							
学期	月	学習項目・単元	学習内容・ねらい	評価方法			
				項目	a・b・c		
1	4	○建築法規の あらまし	・建築法規の起源 ・建築基準法の意義 ・法規の体系と建築基準法の構成 ・建築基準法の基本用語	■定期考査 □小テスト ■ノート ■振り返りシート □作品	a b c a b c c		
	7	○良好な都市環境 をつくるための規定	・都市計画法と建築基準法 ・土地利用・道路と敷地・鉄道と敷地 ・密度に関する規定・形態に関する規定 ・良好なまちづくり	■パフォーマンス課題 □その他 ( )	a b c ( )		
2	9	○個々の建築物に かかわる規定	・一般構造・建築設備についての規定 ・構造強度についての規定 ・防火と避難についての規定	■定期考査 □小テスト ■ノート ■振り返りシート □作品	a b c a b c c		
	1 2 月	○手続きなどの規定	・手続きのあらまし・手続きに関する機関 ・着工前手続き・工事中的手続き・使用中の手続き ・違反建築物などに対する措置 ・その他の制度	■パフォーマンス課題 □その他 ( )	a b c ( )		
3	1	○各種の関係法規	・設計と工事の段階にかかわる法規 ・良好な建築を促進する法規 ・その他の法規	■定期考査 □小テスト ■ノート ■振り返りシート □作品	a b c a b c c		
	3 月			■パフォーマンス課題 □その他 ( )	a b c ( )		
担当者からのメッセージ (学習方法など)							
2級建築士受験のための法律について、安全な建築物を提供するための基本について事例をあげて学びま す。							

教科名	工業 (建設) 科	科目名	衛生・防災設備 (選択D) □必修 ■選択	学年	3 年	単位数	2
使用教科書 副教材 等	衛生・防災設備 (文部科学省)			使用教室	選択教室 3		
学習の 目標	工業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、衛生・防災に関する設備の設計・施工に必要な資質・能力を育成する。						
評価	評価法	興味関心、学習意欲、授業態度と合わせて、下記項目で評価します。 ■定期考査 ■小テスト ■ノート ■振り返りシート □作品 □パフォーマンス課題 (プレゼンテーション・小論文・レポート・ ディベート・自主学習ノート) □その他 ( )					
	評価 観点の 趣旨	a	知識・技術	衛生・防災に関わる設備について設計法や施工法と建築物や社会基盤との関係をふまえて理解するとともに、関連する技術を身に付けようとする			
		b	思考・判断・ 表現	衛生・防災に関わる設備に関する課題を発見し、技術者として科学的な根拠に基づき工業技術の進展に対応し解決する力を養う。			
		c	主体的に学習 に取り組む 態度	衛生・防災に関わる設備による生活環境の向上を目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う			
上に示す観点に基づいて、各観点で評価し、観点別学習状況の評価 (A、B、Cの3段階) および評点 (1~10の10段階) にまとめます。							
学期	月	学習項目・単元	学習内容・ねらい	評価方法			
				項目	a	b	c
1	4・5 6・7	水資源・上水道 給水・給湯設備	雨水活用や水道法と水道施設の概要について 給水給湯機器について 【ねらい】 給水や給湯の方式や原理の視点でとらえ、科学的な根拠に基づき建築物と関連付けて考察し、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、衛生・防災に関わる設備の設計・施工ができるようにする	■定期考査 ■小テスト ■ノート ■振り返りシート □作品 □パフォーマンス課題 □その他 ( )	a	b	c
	9 10・11 12	給水・給湯方式 給水設備の設計 防災設備	給水の方式について 給水量の計算方法、配管機器設計、給水管径計算 防災設備の重要性と法的根拠について 【ねらい】 給水給湯設備のねらいとともに防災設備について、人命の尊重及び財産の保護の視点で捉え、科学的な根拠に基づき建築物と関連付けて考察し、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、衛生・防災に関わる設備の設計・施工ができるようにする	■定期考査 ■小テスト ■ノート ■振り返りシート □作品 □パフォーマンス課題 □その他 ( )	a	b	c
3	1	衛生・防災設備の施工	衛生・防災設備に関する法規との関わりについて 【ねらい】 安全性、経済性及び省エネルギーを考慮する視点で捉え、科学的な根拠に基づき建築物と関連付けて考察し、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、衛生・防災に関わる設備の施工ができるようにする	■定期考査 □小テスト ■ノート ■振り返りシート □作品 □パフォーマンス課題 □その他 ( )	a	b	c
担当者からのメッセージ (学習方法など)							
生活に必要な不可欠な水がどのような経路をたどりつかわれているかを知り、その過程で利用される機器や器具、配管がどのような構成・構造になっているか学び機器や配管の設計、また人命や財産を守るための防災設備、各種法令との関係について一緒に学んでいきましょう。							

教科名	工業 (建設) 科	科目名	土木基盤力学 (選択D) □必修 ■選択	学年	3 年	単位数	2
使用教科書 副教材 等	土木基盤力学 (実教出版)			使用教室	HR 教室		
学習の 目標	土木基盤力学 (実教出版)						
評価	評価法	興味関心、学習意欲、授業態度と合わせて、下記項目で評価します。 ■定期考査 ■小テスト ■ノート・授業プリント □振り返りシート □作品 □パフォーマンス課題 (プレゼンテーション・小論文・レポート・ ディベート・自主学習ノート) □その他 ( )					
	評価 観点 の 趣旨	a	知識・技術	基礎的な知識を身につけ、水理学・土質力学について理解できたか。			
		b	思考・判断・ 表現	国土に建設する上での諸問題の解決を目指して自ら思考を深め、基礎的な知識を活用して創意工夫する能力が身についたか。			
		c	主体的に学習 に取り組む 態度	身近な土木工学にも興味を持ち、基本的事項について関心を持ち、意欲的に取り組む実践的な態度が身についたか。			
上に示す観点に基づいて、各観点で評価し、観点別学習状況の評価 (A、B、Cの3段階) および評点 (1~10の10段階) にまとめます。							
学期	月	学習項目・単元	学習内容・ねらい	評価方法			
				項目	a	b	c
1	4 月 7 月	○水理学の概論	<ul style="list-style-type: none"> <li>水の諸元</li> <li>表面張力と毛管現象</li> <li>浮力と浮体</li> <li>水圧</li> <li>パスカルの原理</li> </ul>	■定期考査	a	b	c
		○静水の性質		<ul style="list-style-type: none"> <li>■小テスト</li> <li>■ノート</li> <li>□振り返りシート</li> <li>□作品</li> <li>□パフォーマンス課題</li> <li>□その他</li> </ul> ( )			
2	9 月 1 2 月	○流水の性質	<ul style="list-style-type: none"> <li>流速と流量</li> <li>流れの種類</li> <li>流れの連続性</li> <li>ベルヌーイの定理</li> <li>損失水頭</li> </ul>	■定期考査	a	b	c
		○管水路 ○開水路		<ul style="list-style-type: none"> <li>■小テスト</li> <li>■ノート</li> <li>□振り返りシート</li> <li>□作品</li> <li>□パフォーマンス課題</li> <li>□その他</li> </ul> ( )			
3	1 月 3 月	○土質力学	<ul style="list-style-type: none"> <li>土の種類</li> <li>地耐力</li> <li>斜面の安定</li> <li>透水</li> </ul>	■定期考査	a	b	c
				<ul style="list-style-type: none"> <li>■小テスト</li> <li>■ノート</li> <li>□振り返りシート</li> <li>□作品</li> <li>□パフォーマンス課題</li> <li>□その他</li> </ul> ( )			
担当者からのメッセージ (学習方法など)							
建設物を保つため欠かせない水と土の理解。しかし形のないもので単純に解明できている訳ではありません。先人が体系化した過程をたどって、少しでも本質をつかみ取ってください。							